

第 12 期
報 告 書

2020年4月 1日から
2021年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

2020年度事業報告書

当会が一般財団法人として発足し12年が経過した。

これまでの運営状況とは全く異なり、2019年度末より続く新型コロナウイルスへの対応に追われた一年となった。

4つの全国大会の内、2大会は予選を含めて完全中止、残りの2大会については自治体の意向や参加チーム状況の推移を調査しながらの実施となった。ホイッスルの上から着用する審判員専用マスクの開発と着用義務化など、対応に悩みながらの開催ではあったが、結果としては最善に近い判断を行ったと考える。

財政面では、各資格登録・更新料を始め収入は大きく減少したものの、移動制限による旅費宿泊費の大幅な減少、さらに政府による持続化給付金・家賃支援給付金の各支援も得られたことにより、収支のバランスは保つことができた。

しかしながら、仮に同様の現象が続いても同じ規模の支援を受けられるとは考えられないため、あくまで特殊な要因として、活動回復に向けた準備を進めることとした。

尚、海外を始めとした協会外の組織へ向けて活動もほぼ中止となったが、選択肢が限定されたことで、逆に開催地周辺の企業・組織へ目を向ける契機となった。今後、制限が緩和され、通常の活動に戻った際にはさらに接点を広げた活動となるよう、活動可能な範囲での協力関係を継続する。


1. 全国競技会

①小学生：全日本ドッジボール選手権（夏）・全国小学生ドッジボール選手権（春）

4～5月の緊急事態宣言を受け、まず夏の大会においては予選の見通しが立たずに中止とした。（シニア全日本選手権も含め10月末までの主催大会は全て中止）

春の大会については、初の石川県での開催に向け感染症対策を徹底しつつ、広いアリーナ面積を活かして移動席を配置する等、会場制限の最大数となる1900名の受け入れを実現する方法を模索しながら準備を進めた。

12月末からの感染症再拡大の影響を受け若干の推薦辞退は生じたものの、開催地の石川県協会及び北信越ブロック連絡会の協力の下、地元スポーツコミッションの支援も受け、通常の大会と遜色のない全国大会となった。

	第30回春の全国小学生ドッジボール選手権 全国大会	
日時	2021年3月28日(日) 9:00～17:00	
会場	いしかわ総合スポーツセンター	
助成団体	 スポーツ振興基金助成事業 <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>	金沢文化スポーツコミッション (公財)ミズノスポーツ振興財団
参加チーム 人数	42都道府県より45チーム 選手 小学生男女3～6年 833名 指導者 チーム役員 133名	



②第7回全日本女子総合選手権



2018年度以降は他の全国大会と同様の規模で競技会に特化し48チームで開催していた。

秋に入り感染状況が沈静化したことから、例年同規模での開催も可能ではとの見通しも出ていたが、11月に入ると感染傾向が再拡大したため、推薦を見合わせる協会や参加辞退チームも生じ、最終的な参加規模は例年の2/3程度となった。

自治体の大規模大会に伴うコロナ対策を厳守し、応援者の入場制限に加え全員の体調を名簿管理するという体制での開催となったものの、プレ大会を重ねてきた茨城県協会／関東ブロックの準備体制にも助けられ、逆に2020年度初の全国大会として参加者も含めた協力を促進する大会となった。

大会名	期日	会場名	参加チーム数
第7回全日本女子総合選手権	2020年12月13日	アダストリアみとアリーナ	女子小学生（D1G）都道府県代表20チーム 女子中学生以上（シニア）5ブロック代表16チーム 選手546名、チーム役員78名

2. 競技委員会

主催大会では競技運営を円滑に行うと共に、ルールの徹底、審判員の資質向上のため諸施策を実行した。常任委員会では審判員育成課題等、競技全般に関し情報交換、研究、検討を行い、全国大会時における審判クリニックでは各地域から派遣される審判員を通じ全国への周知を図った。

● B級公認審判員認定講習会

開催ブロック	開催日	開催場所	受験者	合格者
関東	2020/12/20	さいたま市立徳力小学校（埼玉県）	12	4
中国	2020/10/4	廿日市市立平良小学校（広島県）	3	1
四国	2020/11/29	高松市仏生山公園体育館（香川県）	3	1
計			18名	6名

感染症拡大の影響を受け、全9ブロック中の3ブロックのみの実施となった。

また、12月・3月の全国大会派遣時には、他地域からの移動自粛による人数減少だけでなく、ホイスルの上からマスクを着用してのジャッジ、チーム数の変動に伴うトーナメントの再抽選等、

普段とは異なる対応が必要となったが、進級試験前の数少ない実技の機会として積極的な協力を得ることができた。

審判員全体の人数に関しては、2019年度時点では4000名を超えていたが、多くの協会で新規講習会を開けなかったことや活動機会の減少もあり、3600名台まで減少している。



3. 普及委員会

年度当初より休校や活動自粛が続き、新規加入を目的とする教室事業は困難となったため、意見集約を主としたオンライン会議の実施に絞った。

その中では、人数が揃わないチームの増加に伴い、これを機に改めて制限を緩和したカテゴリーの創設を求める声が多く挙げられた。

一方で、現在の年齢構成だけに捉われない柔軟な考え方も生み出せるよう、2030年度までに3000チームを目指すという構想を掲げ、対象の年代を問わず導入部の役割を具体化するために分析を始めることとした。

4. 指導委員会

●指導者更新講習会 兼 講演会

2019年度に続き、女子総合選手権の機会を利用し、大会前日に実施した。

今回は外部講師を積極的に招き、他競技でのトップレベルでの経験や、地域との繋がりを重視した取り組み、また大学の専門的な見地からの成長期の体づくりについて講演を行った。

日時	2020年12月12日 13:30~17:30	
会場	アダストリアみとアリーナ 会議室	
講師 (講演順)	岩政 大樹氏 (サッカー元日本代表選手 /元鹿島アントラーズ選手) 岡本 文幸氏 (一般社団法人アントラーズ ホームタウンDMO事務局長) 日下部 守昭氏 (東京大学大学院農学生命 研究科特任教授)	
受講人数	計103名(会場16名+配信受講者87名※) ※LIVE配信+オンデマンド配信	

他の事業と同様、コロナ禍の影響で会場出席者を制限したが、代替案として、当日のオンライン配信または録画映像の後日配信による受講及びレポート提出の形式で対応したところ、想定以上に好評であった。

スケジュール調整は平常時でも難しいケースが多く、またオンラインでの講演は状況に応じて反復できる特徴もあるため、今後も積極的な実施を検討していくこととした。

●指導者養成講習会 集合学習④

準指導員(区分II)＝B級指導員の最終段階として集合学習④を2ブロック4会場にて開催した。

集合学習①～④＋考査(実習10時間＋レポート提出による審査)に合格し、日本スポーツ協会の共通科目I以上の単元を修了した者は、本協会独自資格ではなく、日本スポーツ協会公認のドッジボールコーチとして認められる。

公認指導者講習会 集合学習④ 対象：公認準指導者 資格区分I(C級指導 員資格)取得者	2020年6月28日(日) 金谷体育センター／島田市金谷公民館みんくる 静岡県	合格者 48名
	2020年11月7日(日) 名古屋市稲永スポーツセンター 愛知県	合格者 41名
	2020年12月6日(日) 津市産業・スポーツセンターサオリーナ 三重県	合格者 43名
	2020年12月6日(土) 高松市立中央小学校体育館 香川県	合格者 50名

●臨時指導員資格制度の設置

コロナ禍における地域間の講習会実施状況はばらつきが大きく、県を超える受講も難しい状況が続いたことから、暫定的な指導者資格として臨時指導員の資格を設定した。

一旦は感染状況が沈静化したことから希望者は限られた地域に留まると予測していたが、冬に入り再度感染拡大傾向となつたため、50名以上が活用することとなった。

●指導員養成講習会テキストの改訂

公認指導員資格の取得に関する履修単元の整理とテキスト編集を2年間の予定で進めている。これまで集合学習①～④の4つに分かれていた講習会の内、2020年度はまず最初の2つをまとめ、一回の講習会で受講できる分量とした。

2021年度からC級指導員講習会として運用するとともに、並行して残りの集合学習の整理とテキスト編集を進める。

5. 国際委員会

WDA主催にて予定されていた世界大会は、感染症の世界的な拡大の影響を受け、開催時期未定となった。同様に他の国際大会の計画も立っていないため、まずは国内から発信できる取り組みとして、シングルボールルールの審判動作の英語版の公表にむけ、オンライン上での製作に取り組んだ。

同様に、2019年度に実施したマルチボール審判員向けテキスト(ルールブック)翻訳版の改訂にも取り掛かっている。

Head Referee

3) Movements of the head referee

Out
Hand signal: with the palm perpendicular to the floor surface, indicate the player in question (actually pointing with a finger is strictly prohibited).

Posture: in line with basic movements: omitted hereafter

Whistle: short blow

Call: "Number ○, out" in a clear voice that can be heard by the players. Every effort should be made to confirm the player's number before the judgement ("call" in JDBA rule) is made.

Head referee blows the whistle(short blow) and blows off. The whistle should not be held in the hand at the time of the 'call', and put back in the mouth quickly after the 'call'.

- Out of Bounds

Hand signal: extend both upper arms out horizontally at shoulder width (90 degrees to the body), with the elbows bent at 90 degrees and the forearms pointing up (parallel to the body) and the palms pointing in the direction of the face.

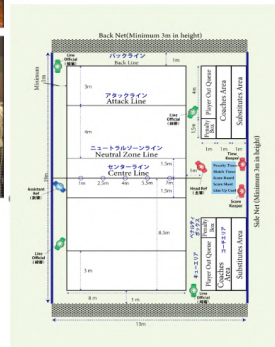
Whistle: long blow

No call

*In order to indicate a dead ball, after blowing the whistle, confirm the decision with the line official.
This is carried out at the time of (1) to (3) of Article 809 of the rules of competition.



【コートレイアウト 図2】
審判員(主審・副審・得点員) 計量員(タイムキーパー) 記録員(スコアキーパー) 記録室



JDBA マルチボール 基本ルール
(World Dodgeball Association 6-6 編修版)

目次

1	マルチボールの基本的なプレイスタイル	2ページ
2	コート	4ページ
3	用具	5ページ
4	試合構成と審判員・得点員・記録	6ページ
5	ラッシュ(セットの開始)	7ページ
6	プレイの構成	8ページ
7	パス	10ページ
8	ブロッキング	10ページ
9	スロー(投擲)	10ページ
10	キャッチ(捕球)	11ページ
11	負傷対応	12ページ
12	抗議・アペール	12ページ
13	行動規範・マナー	12ページ
14	罰則(注意・警告・退場・失格)	13ページ
15	レックプレイ マルチI(C&A・コート裏・プレイリスト)	14ページ

6. 会議の開催状況

評議員会はいずれもオンライン上での開催、また理事会においても約半数の理事は年間を通じてオンライン出席となるなど、特殊な実施形式となった。

遠方からの移動に伴う経費の圧縮、及び移動時間の省略によるスケジュール調整の柔軟化等、メリットも認識できた。一方で、特に理事会における中期的な計画やガバナンスコード適合に向けた具体策等、意見を掘り下げるべき課題に対しては進行が難しく、より工夫が必要となった。

①評議員会

会議名	開催日	主な審議事項
定時評議員会	2020/6/24	2019年度事業報告・収支決算の承認
臨時評議員会	2021/2/25	2021年度事業計画・収支予算の承認

②理事会

	日程	主な議題
第1回	2020/6/21	新理事挨拶 感染症対策に伴う2020年度事業の変更確認 2019年度事業・決算報告承認
第2回	2020/7/25	全国大会中止に伴う年間収支見込への影響の確認 中期計画最終年度に伴う2011-2020計画総括
第3回	2020/9/12	感染症対策に伴う臨時指導者資格の設置 中期計画策定準備（各専門委員会）
第4回	2020/11/22	2020年度全国大会日程／会場情報確認 ボール改定情報の確認 大会スポンサー情報
第5回	2021/1/30	女子選手権総括／春小準備状況への反映事項整理 審判員向けマスク作成状況確認 会員向け広報紙掲載内容確認
第6回	2021/2/20	第30回春小全国大会開催方法・条件整理 2021年度全体事業／予算計画承認 スポーツ団体ガバナンスコード関連事項整理

7. 他（委員会単位ではない事業／他団体への派遣事業等）

❖ 審判員用マスク（レフガード）の製作・販売

競技特性上、審判員のホイッスル使用を制限することは困難なため、飛沫抑制を目的に審判員専用マスクの作成に取り組んだ。12月の女子選手権において試作品を使用した後、若干の改良を施し、3月の全国大会では派遣審判員全員に着用を義務付けた。

現状行える有効な対策として、効果や使用感を収集しつつ、今後も製作・販売を進める。



- ❖ スミセイアフタースクールプロジェクト (<http://sumiseiafterschool.jp/about/>)
 (主催 住友生命相互保険相互会社・NPO法人放課後アフタースクール)
 7年目を迎えた本プロジェクトは、感染症対策のリスク等を考慮し、オンラインのみで実施した。
 現地で実際の動作を示すことができない難しさはあるが、配信環境さえ整えることができれば同時に複数会場での実施も可能となるなどメリットも考えられるため、今後も工夫を重ねることとした。

2020年8月11日	桂徳児童館（京都府京都市・トライアル実施）	-
2020年10月2日	南あわじ市教育委員会（兵庫県南あわじ市）	16名
2020年10月9日	児童クラブきらり（山形県東置賜郡）	31名
2020年10月24日	三朝町教育委員会（鳥取県東伯郡）	31名
2021年1月8日	たしろ保育園（青森県中津軽郡）	33名
2021年2月24日	大洲市立喜多児童クラブ（愛媛県大洲市）	27名
2021年3月26日	社会福祉法人 松任福祉会 悠愛学童クラブ（石川県白山市）	14名



※写真はスミセイアフタープロジェクト活動ブログより転載。

- ❖ その他の外部団体との協力による教室
 例年実施していたスポーツ祭りは完全に中止、また、2019年度後半から四国～九州地域のコナミスポーツ株式会社管理施設で計画していた教室については、大分県での一会場のみの実施となった。
 2021年度当初時点でも広域的な教室の計画は困難なため、環境が落ち着いてから再度関係者との調整を行うこととした。

第 12 期
計 算 書 類

2020年4月 1日から
2021年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

貸借対照表

2021年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	48,210,997	33,593,464	14,617,533
商品	1,936,873	2,113,895	△ 177,022
前渡金	543,436	430,626	112,810
未収入金	7,726,263	3,557,025	4,169,238
流動資産合計	58,417,569	39,695,010	18,722,559
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	1	1	0
ソフトウェア	262,500	352,500	△ 90,000
保証金	414,000	414,000	0
その他固定資産合計	676,501	766,501	△ 90,000
固定資産合計	676,501	766,501	△ 90,000
資産合計	59,094,070	40,461,511	18,632,559
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,602,263	854,890	5,747,373
前受金	973,000	1,005,000	△ 32,000
預り金	112,955	61,221	51,734
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	438,600	417,100	21,500
流動負債合計	8,196,818	2,408,211	5,788,607
負債合計	8,196,818	2,408,211	5,788,607
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	50,897,252	38,053,300	12,843,952
正味財産合計	50,897,252	38,053,300	12,843,952
負債及び正味財産合計	59,094,070	40,461,511	18,632,559

損益計算書（正味財産増減計算書）

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	5,468,007	12,932,937	△ 7,464,930
登録料収益			
チーム登録料収益	3,786,000	4,254,000	△ 468,000
受取会費			
協会員受取会費	31,484,000	35,511,960	△ 4,027,960
役員等受取会費	660,000	630,000	30,000
加盟協会料収益			
加盟協会料収益	2,350,000	2,350,000	0
スポンサー料収益			
スポンサー料収益	4,572,500	5,277,334	△ 704,834
販売収益			
販売収益	6,054,115	8,646,200	△ 2,592,085
検定料収益			
公認球検定料収益	1,895,520	2,547,360	△ 651,840
手数料収益			
手数料収益	700,206	1,049,442	△ 349,236
受取補助金等			
受取助成金	5,043,000	4,898,000	145,000
雑収益			
雑収益	3,133,227	432,030	2,701,197
経常収益計	65,146,575	78,529,263	△ 13,382,688
(2) 経常費用			
事業費			
謝金	401,164	921,000	△ 519,836
旅費交通費	2,672,320	9,280,536	△ 6,608,216
宿泊費	1,634,493	3,825,839	△ 2,191,346
事業支援費	17,577,400	19,681,460	△ 2,104,060
賃借リース料	656,145	672,468	△ 16,323
制作費	3,623,302	4,421,073	△ 797,771
用具費	788,080	3,027,347	△ 2,239,267
通信運搬費	1,223,978	1,466,226	△ 242,248
印刷製本費	1,569,526	4,027,905	△ 2,458,379
事業消耗品費	3,480,840	2,689,144	791,696
事業雑費	694,914	2,967,829	△ 2,272,915
管理費			
給与手当	6,466,459	7,466,702	△ 1,000,243
通勤費	399,520	463,776	△ 64,256
法定福利費	1,103,929	1,244,301	△ 140,372
福利厚生費	66,200	69,470	△ 3,270
賃借料	3,627,350	3,566,356	60,994
リース料	253,748	254,016	△ 268
旅費交通費	640,830	843,233	△ 202,403
通信費	671,915	529,752	142,163
運賃	676,614	955,994	△ 279,380
消耗品費	599,149	476,899	122,250
顧問料	720,000	1,000,000	△ 280,000
業務委託費	413,050	313,274	99,776
会議費	42,616	56,120	△ 13,504
接待交際費	215,085	263,078	△ 47,993
水道光熱費	250,526	296,639	△ 46,113
諸会費	467,375	574,490	△ 107,115
租税公課	857,600	844,300	13,300
減価償却費	90,000	90,000	0
雑費	348,495	332,497	15,998
経常費用計	52,232,623	72,621,724	△ 20,389,101
当期経常増減額	12,913,952	5,907,539	7,006,413
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	12,913,952	5,907,539	7,006,413
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	12,843,952	5,837,539	7,006,413
一般正味財産期首残高	38,053,300	32,215,761	5,837,539
一般正味財産期末残高	50,897,252	38,053,300	12,843,952
II 正味財産期末残高	50,897,252	38,053,300	12,843,952

財務諸表に対する注記（附属明細書）

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品……最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……建物・建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法
無形固定資産……定額法
- (3) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式で計上している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	10,011,600	10,011,599	1
ソフトウェア	450,000	187,500	262,500
合 計	10,461,600	10,199,099	262,501

3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	BS上の 記載区分
補助金・助成金 2020年度ジュニア育成助成金	ミズノ財団	0	500,000	500,000	0	—
スポーツ普及 奨励助成金	スポ安	0	550,000	550,000	0	—
加盟団体助成金	日レク	0	100,000	100,000	0	—
全国大会助成金	MDBA	0	1,000,000	1,000,000	0	—
金沢文化スポーツ 事業誘致助成金	KCSC	0	500,000	500,000	0	—
スポーツ振興 基金助成金	スポーツ振興	0	2,393,000	2,393,000	0	—
合 計		0	5,043,000	5,043,000	0	

財産目録

2021年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	237,490	
普通預金 みずほ銀行神谷町支店	2,105,508	
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(賛助会員)	2	
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(振興くじ)	781,469	
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(JKA)	25,038	
普通預金 みずほ銀行神谷町支店(ｽｰｽﾞ振興)	587,677	
郵便振替 東京貯金事務センター(審判)	38,758,106	
郵便振替 東京貯金事務センター(積立金)	10,729	
郵便振替 東京貯金事務センター(ｽｰｽﾞ-ﾀｰ)	68,390	
郵便振替 東京貯金事務センター(祝賀会)	69,903	
郵便振替 東京貯金事務センター	5,566,685	
商品 賞状、テキスト、レフガード他	1,936,873	
前渡金 2020年度WD A宿泊費、2021年度用印刷代	543,436	
未収入金 スポーツ振興助成金他	7,726,263	
流動資産合計		58,417,569
2. 固定資産		
(1) その他固定資産		
工具器具備品 大会用コート	1	
ソフトウェア システム開発費	262,500	
保証金 事務局	414,000	
その他固定資産合計	676,501	
固定資産合計		676,501
資産合計		59,094,070
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金 事務局経費、春大会分他	6,602,263	
前受金 2021年度会費	973,000	
預り金 源泉税他	112,955	
未払法人税等	70,000	
未払消費税	438,600	
流動負債合計		8,196,818
負債合計		8,196,818
正味財産		50,897,252

貸借対照表総括表

2021年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	48,210,997	0	0	48,210,997
商品	1,936,873	0	0	1,936,873
前渡金	139,140	0	404,296	543,436
未収入金	4,205,663	3,520,600	0	7,726,263
流動資産合計	54,492,673	3,520,600	404,296	58,417,569
2. 固定資産				
(1) その他固定資産				
工具器具備品	0	1	0	1
ソフトウェア	262,500	0	0	262,500
保証金	414,000	0	0	414,000
その他固定資産合計	676,500	1	0	676,501
固定資産合計	676,500	1	0	676,501
資産合計	55,169,173	3,520,601	404,296	59,094,070
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	3,856,943	2,745,320	0	6,602,263
前受金	973,000	0	0	973,000
預り金	107,344	5,611	0	112,955
未払法人税等	70,000	0	0	70,000
未払消費税	438,600	0	0	438,600
元入金	△ 32,071,168	22,486,886	9,584,282	0
流動負債合計	△ 26,625,281	25,237,817	9,584,282	8,196,818
負債合計	△ 26,625,281	25,237,817	9,584,282	8,196,818
III 正味財産の部				
1. 一般正味財産	81,794,454	△ 21,717,216	△ 9,179,986	50,897,252
正味財産合計	81,794,454	△ 21,717,216	△ 9,179,986	50,897,252
負債及び正味財産合計	55,169,173	3,520,601	404,296	59,094,070

損益計算書（正味財産増減計算書）総括表

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
事業収益	1,610,887	3,857,120	0	5,468,007
登録料収益				
チーム登録料収益	3,786,000	0	0	3,786,000
受取会費				
協会員受取会費	31,484,000	0	0	31,484,000
役員等受取会費	660,000	0	0	660,000
加盟協会料収益				
加盟協会料収益	2,350,000	0	0	2,350,000
スポンサー料収益				
スポンサー料収益	3,850,000	722,500	0	4,572,500
販売収益				
販売収益	4,925,015	1,129,100	0	6,054,115
検定料収益				
公認球検定料収益	1,895,520	0	0	1,895,520
手数料収益				
手数料収益	616,383	83,823	0	700,206
受取補助金等				
受取助成金	400,000	4,643,000	0	5,043,000
雑収益				
雑収益	3,133,209	18	0	3,133,227
経常収益計	54,711,014	10,435,561	0	65,146,575
(2) 経常費用				
事業費				
謝金	251,616	149,548	0	401,164
旅費交通費	506,110	2,166,210	0	2,672,320
宿泊費	153,886	1,480,607	0	1,634,493
事業支援費	17,577,400	0	0	17,577,400
賃借リース料	108,500	547,645	0	656,145
制作費	1,410,150	2,213,152	0	3,623,302
用具費	79,652	708,428	0	788,080
通信運搬費	167,612	1,056,366	0	1,223,978
印刷製本費	1,115,760	453,766	0	1,569,526
事業消耗品費	2,292,392	1,188,448	0	3,480,840
事業雑費	120,769	574,145	0	694,914
管理費				
給与手当	6,466,459	0	0	6,466,459
通勤費	399,520	0	0	399,520
法定福利費	1,103,929	0	0	1,103,929
福利厚生費	66,200	0	0	66,200
賃借料	3,627,350	0	0	3,627,350
リース料	253,748	0	0	253,748
旅費交通費	640,830	0	0	640,830
通信費	671,915	0	0	671,915
運賃	676,614	0	0	676,614
消耗品費	599,149	0	0	599,149
顧問料	720,000	0	0	720,000
業務委託費	413,050	0	0	413,050
会議費	42,616	0	0	42,616
接待交際費	215,085	0	0	215,085
水道光熱費	250,526	0	0	250,526
諸会費	467,375	0	0	467,375
租税公課	857,600	0	0	857,600
減価償却費	90,000	0	0	90,000
雑費	348,495	0	0	348,495
経常費用計	41,694,308	10,538,315	0	52,232,623
当期経常増減額	13,016,706	△ 102,754	0	12,913,952
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	13,016,706	△ 102,754	0	12,913,952
税引前当期一般正味財産増減額	13,016,706	△ 102,754	0	12,913,952
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	12,946,706	△ 102,754	0	12,843,952
一般正味財産期首残高	68,847,748	△ 21,614,462	△ 9,179,986	38,053,300
一般正味財産期末残高	81,794,454	△ 21,717,216	△ 9,179,986	50,897,252
II 正味財産期末残高	81,794,454	△ 21,717,216	△ 9,179,986	50,897,252

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2021年 6月19日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 畑 敬 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2020年度（自2020年4月1日至2021年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2021年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協定会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2021年 6月 17日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 山田 上 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2020年度（自2020年4月1日至2021年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2021年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものとする。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協定会定に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上